

那珂市の「館」跡

那珂市歴史民俗資料館

高野氏館跡全景



中世における那珂市域には額田城・南酒出城・戸村城・瓜連城・古徳城・城菩提城・江戸城・北酒出城の8か所があったとされます(解説シート⑨参照)。それらの城主は多くの家臣団を持っていたことから、彼らの屋敷である館も多く存在します。

菅谷地区から飯田地区にかけては、南の江戸氏と北の額田氏、西の戸村氏との接点に位置し、互いの抗争が絶えなかったと思われます。

これらの館の周辺には堀と土塁が巡らされ、出入り用には木橋や土橋が架けられていました。内部は大きな門や住宅・倉庫・角櫓、井戸や貯蔵庫・貯蔵穴などが設けられていました。館のほとんどは既開発か半壊の状況ですが、中には山林として残っているものも見られます。

地区	地名（住人）	地区	地名（住人）	地区	地名（住人）
菅谷	寄居(平野豊前重資)	福田	中坪／仲福田(福田和泉)	戸崎	内子／内後(戸島弾正)
	仲の房東(軍司筑後守)		向坪(海野日向)	飯田	寄居(掛札駿河・大和田)
	地天(飛田氏)		玄番山(叶野玄番)		上飯田備前山(居住者不明)
	一の関(藤咲丹後)		原坪／原福田(高橋土佐)	鴻巣	稻荷山(大和田主水)
	竹の内(藤咲丹後嫡子)	門部	藤崎／東崎(坏縫殿之介)	向山	東風谷(大和田主水)
	みの内(柏村越前守)		ゆうがい山(居住者不明)		大学原(大井大学)
	中宿東(高野丹後守)		不明(片岡美作守)	豊喰	新地(居住者不明)
	高内(宮田掃部助)	下江戸	木戸前(義家出陣の館所)		
	鷺内稻荷山(加藤安房守)		小屋場(義家の陣所)	西木倉	たての山(居住者不明)
	小六内(平野小六)	大内	楯の内内屋敷(江戸氏)		
戸	仲の房正覚寺(居住者不明)	本米崎	不明(佐竹義高)※貞義弟		
	堀之内(大和田主水)		加納(加納衛門)		
戸	立石／桧山台(桧山氏)				

(『那珂町史の研究 第10号』より。この他にも新発見が期待される。瓜連地区は未調査です。)

写真上(「高野氏館跡調査報告書」より)・下は、開発対象となったため、平成18年度に発掘調査された中宿東の高野氏館跡(堀が一重の単郭)です。館跡全域が確認調査の対象となった貴重な発掘でした。館の形状は、堀の外郭が東西59m余、南北68m余の方形館です。堀の幅は5m超、深さは3m超、底部幅は1.5m前後で湧水の水堀であったと思われます。

土塁の幅は3m前後、高さは2.5m前後で四角に高く盛られた櫓台が見られました。南西部の虎口(出入口)に門扉用柱跡があり、架橋であったことも分かります。

堀立柱建物跡3棟、井戸跡5基や内耳土鍋やカワラケなどの土器類が検出されています。

